



先日行われた定期テストⅡでは、学習の成果を存分に発揮することができたでしょうか？
この先は、新人大会、地域貢献活動、東華祭等が予定されています。忙しい日々になるかと思いますが、見通しをもって計画的に過ごし、自己実現を図ってほしいと願っています。

10月7日（土）は地域貢献活動・地域と学校ウエルカム参観日

地域連携担当 森 正樹

東新潟中学校区には、学校と地域が手を携えて「地域総がかり」で子どもの成長を支えようとする土壌があります。地域のみなさんや保護者のみなさんが、東新潟中学校とそこに通う生徒のことを大切に思い、教育活動に協力してくださっているのです。

そんな温かい地域のために、私たちは地域貢献活動「絆づくり」を行っています。地域貢献活動「絆づくり」のねらいは、次の3点です。

- 校区内で地域貢献活動をすることで、地域を大切にする心を育む。
- 学年、学級を超えた絆づくりとともに、地域の方、保護者との絆づくりの場とする。
- 活動を振り返り、地域社会における中学生の立場について価値付けを行う。

地域のみなさんや保護者のみなさんと一緒に身近な場所の環境を整える活動を通じて、地域への愛着を深めるとともに、地域社会における自分たちの役割や自分たちにできることを改めて考えましょう。

また、今年度は午後から「地域と学校ウエルカム参観日」を開催します。みなさんがこれまでの「総合的な学習の時間」で、地域の方の協力を得ながら学んできたことを他の学年や地域のみなさんに伝え合い、地域のために自分たちができることを考えます。自分の生き方、地域との関わり方をみんなで考える時間にしましょう。

美術部のみなさんが沼垂まつりに参加しました

8月16日（水）の沼垂まつりでは、美術部のみなさんが作品を沼垂白山神社に奉納しました。地域の方からご指導とご協力をいただき、夏休み中に部員総出で作品の制作に取り組みました。



＜各種大会の結果＞

吹奏楽部	第72回 下越地区吹奏楽コンクール	銀賞
合唱部	第90回 NHK全国合唱コンクール新潟県大会	銅賞
	第64回 新潟県合唱コンクール	銅賞

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について（令和5年4月18日実施）

1 調査の目的

「全国学力・学習状況調査」とは、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、全国の国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年を対象に行われるものです。「国語」「数学」は毎年行われますが、「理科」「英語」の調査は3年に1回行われます。今年度は「英語」の調査が行われました。

2 調査結果と考察

(1) 東新潟中学校調査結果

① 「国語」

・正答率は新潟県全体の平均よりも-2%、全国平均よりも-0.2%と低かった。

② 「数学」

・正答率は新潟県全体の平均よりも-2.7%、全国平均よりも-5.9%と低かった。

③ 「英語」

・正答率は新潟県全体の平均よりも-0.7%、全国平均よりも-3.6%と低かった。

(2) 考察

【生徒質問用紙から】

生徒自身が自分自身の生活を振り返って回答した結果からは明るい結果が多くみられました。

例えば「2年生の時に受けた授業で、PC やタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」という問いに対して、東新潟中学校生徒の「積極的に活用した」という回答は96.5%でした。これは新潟県平均を22.0%、全国平均を35.4%も上回っています。

また「2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表しましたか」という問いに対して、本校生徒は78.4%が「工夫して発表した」と回答しました。これは新潟県平均を10.1%、全国平均を16.3%も上回っています。さらに「国語の勉強が好きですか」に対する肯定的評価は、本校では73.5%であり、新潟県平均を11.0%、全国平均を12.1%上回っています。「数学の勉強が好きですか」に対しては、肯定的評価をした本校生徒は67.9%であり、新潟県平均を9.3%、全国平均を11.2%上回っています。「英語の勉強が好きですか」に対しては、本校生徒の肯定的評価が63.0%であり、新潟県平均を11.8%、全国平均を11.1%上回る結果となりました。

【国語】

「国語」は「知識・技能」をみる問題において、「情報の扱いに関する事項」の正答率が60.1%と低い結果となりました。文章の内容を2つに区切り、後半部分で書かれている内容について「見出し」を付ける問題でした。

「思考力・判断力・表現力等」をみる問題においては、「話すこと・聞くこと」の正答率が81.8%と高く、「書くこと」の正答率が59.4%と低い結果となりました。特に「書くこと」に関する問題では、レポートの下書きの一部について、文の一部を書き直す意図として適切なものを選択する、

というものに課題が残りました。また、現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているのかについて古典と比較して書くという問題については、無回答が28.0%と多くみられたことも課題として挙げられます。

【数学】

「数学」は「数と式」に関する問題の正答率が57.1%と新潟県の公立学校の平均正答率とほぼ同じ結果であったのですが、「図形」に関する問題の正答率が29.6%と低い結果となりました。また「データの活用」に関する問題の正答率も43.5%と課題が残りました。「数と式」に関する問題では、「数と整式の情報の計算ができるかどうかをみる」もので正答率74.3%、「はじめの数が11のとき、はじめの数にける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める」の正答率は83.3%でした。「図形」分野では、「空間における平面が同一線上にない3点で決定されることを理解しているか」を問う「知識・技能」に関する正答率が23.6%と低く、また「データの活用」分野の問題では、「複数の集団のデータ分析の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるか」を問う「思考・判断・表現等」に関する正答率が18.8%と低い結果となりました。

「数学」に関する東新潟中学校の課題として「無解答率の高さ」が挙げられます。無回答率が20%を超えた問題数が、15問中5問ありました。これは数学に苦手意識をもっている生徒が多いことを表していると考えられます。

【英語】

「英語」では「読むこと」に関する正答率は新潟県平均より+1.5%と高く、全国平均より-3.1%と低い結果となりました。「書くこと」に関する正答率は新潟県平均より+1.1%と高く、全国平均より-4.9%と低い結果となりました。

「聞くこと」の分野では、「忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する」問題の正答率が68.3%と高く、新潟市の平均正答率よりも+8.1%、全国平均と比較しても+7.2%と高い結果となりました。大きな課題として挙げられる点は「書くこと」に苦手意識をもっている生徒が多くいる点です。「ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く」の正答率が19.7%で、無解答率が38.0%でした。また「メールの英文を依頼する表現に書きかえる」という「知識・技能」に関する問題の正答率は20.4%と低く、無解答率は34.5%という結果でした。

3 さらなる学力向上を目指すために東新潟中学校が行うこと

「国語」「数学」「英語」に関する弱点克服に向けて、各教科内で連携をとりながら授業を進めてまいります。特に各教科とも「結果を考察してまとめる」「自分の考えを書き表す」など「思考・判断・表現等」における「書くこと」の分野で課題がみられました。今年度東新潟中学校では、「生徒の自主性を育む振り返り活動」をテーマに授業研修を行います。生徒が目的意識をもって授業に参加できるよう授業改善に努めてまいります。「国語、数学、英語の勉強が好き」と回答してくれた生徒数が今後ますます増加し、さらに学力が確実につく授業を展開できるよう努めてまいりたいと考えております。